

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この実践報告の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この実践報告の対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報を使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●実践報告の名称 低侵襲手術における表層切開創 SSI 発生予防のための臍処置への取り組み
	●研究の対象 2020～2025 年に当院で臍窩皮膚切開術を受けられた方
	●実践報告の目的 低侵襲手術後の臍窩部における手術部位感染（SSI）予防のための臍処置の取り組みについて、外科感染学会等の医療関係者に共有することで、今後の SSI 予防策の向上に役立てることを目的としています。
	●実践報告の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2026 年 12 月 20 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●実践報告に使用する試料・情報 情報：手術日、手術術式、臍窩部皮膚切開創の状態、表層切開創 SSI の発生状況、カルテ番号 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 高岡 雅代

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《外国にある者に対する試料・情報の提供》	外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《公開方法》	学会発表を申請し、採択された場合、発表スライドを用いて学会発表を行います（予定学会名：第 39 回日本外科感染症学会総会学術集会）。
《個人情報の保護に対する配慮》	個人情報の保護に十分配慮し、誰の情報かわからない状態（手術件数、手術部位感染の全体の発生率のみ）にしたうえで発表に使用します。
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの情報を実践報告に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： Data Ops センター 担当者： 高岡雅代 TEL： 053-435-2071 E-mail： takaoka@hama-med.ac.jp